

# 震災から何を学ぶか

## - 3.11から見た日本社会 -



2011年 3月11日に発生した東日本大震災から1年が経とうとしています。この震災は、東日本に甚大な被害をもたらしただけでなく、日本社会全体にとっても、その根幹をなす社会的諸構造に根本から見直しを迫る未曾有の大災害でした。

私たちはこの1年を通して震災にどうアプローチしてきたのか、また、何を学びうるのでしょうか。このフォーラムは、この間に産社の学生、院生、教員が3.11に関連して行なってきた活動や研究、そしてその「気づき」を共有し、3.11以後の日本社会および私たちのあり方について「産社」らしいかたちで考えあう機会としたいと思います。

**日時:2012年2月1日(水) 16:00~18:00**

**場所:以学館5号 教室** \*当初案内の4号教室から変更しました

● 企画研究クラスの実践報告

\* 遠藤・小澤クラス

「震災被災児童学習支援および「おこしやす癒しやす京都」プロジェクトの実施」

・・・上田真史くん(産社4回生)

\* 永橋クラス

「小規模分散型エネルギーがもたらす地域再生の可能性」

・・・加藤歩さん、吉原裕貴くん、  
和喜陽平くん(いずれも産社4回生)

● 院生による震災関連研究調査報告

「岩手県遠野市のケーススタディ 被災地の後方支援を可能とする土壌(仮)」

・・・谷亮治さん(社会学研究科研究生)および  
地域コミュニティを想う会

● 院生・学生による

被災地ボランティア活動報告

「被災地におけるNPOによる学習支援」

・・・伊原千晶さん(社研院生)

「『傾聴』という支援」

・・・田中秀典くん(産社3回生)

● 教員による被災地調査報告

「被災地の福祉労働者は何をしたか」

・・・石倉康次先生

● フォーラムに寄せて

中西典子先生

栗谷佳司先生